

学校

①12年間を見通した、生活科総合的な学習の時間における
育成を目指す資質・能力系統表



②モデル校におけるカリキュラムの作成・実践



③各学校におけるカリキュラムの作成・実践



学校を核とした「ふるさと創生プラン」

経済産業

市長部局



学校を核とした「ふるさと創生」事業

佐伯市教育委員会 吉田 康彦

佐伯市の現状＝抱えている課題

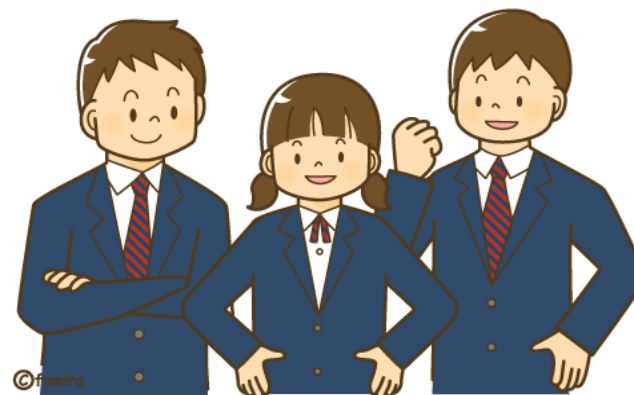
平成17年5月1日

- ・市人口: 80, 297人
- ・小学校: 4, 352人
- ・中学校: 2, 306人



平成28年5月1日

- ・市人口: 74, 441人
- ・小学校: 3, 288人
- ・中学校: 1, 785人



児童生徒
年平均140人の減 子育て人口の減少

学校が佐伯市の
課題克服に果たす
べき役割は？

学校

①12年間を見通した、生活科総合的な学習の時間における
育成を目指す資質・能力系統表



②モデル校におけるカリキュラムの作成・実践



③各学校におけるカリキュラムの作成・実践



学校を核とした「ふるさと創生プラン」

経済産業

市長部局



学校を核とした「ふるさと創生事業」

生活科及び総合的な学習の時間を要に、地域の特性を踏まえ、地域の「ひと・もの・こと」を活用しながら、学校を核とした地域の活性化を推進する取組をとおして、ふるさとへの愛着やほこりを育み、夢や希望をもってふるさとの未来を創造する資質と能力をそなえた人材の育成をめざす。



○鳴門教育大学大学院への教職員派遣

渡町台小学校 渡邊 崇 先生

○研究テーマ

「地方創生の実現を目指す総合的な学習の時間を要としたカリキュラムの開発及び実証」



共同研究

12年間を見通した生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表

資質・能力系統表を具現化していくには...

生活、総合的な学習の時間に係る具体的な取組 ＜地域とともに創る学校＞

○12年間を見通したカリキュラムの策定

- ・小学校、中学校の連携を意識したカリキュラムの策定
- ・義務教育9年間の学びを踏まえた高等学校のカリキュラムの策定

○市全体の共通テーマに基づく取組

- ・佐伯の歴史・文化・先人
- ・防災

○一校一実践の取組

- ・伝統芸能・伝統技術の継承
- ・B級グルメ商品開発
- ・地域の名所・旧跡案内
- ・地場産業の研究



○生活・総合研究モデル校の指定

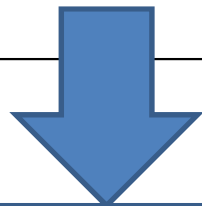
- ・小学校、中学校各1校→公開研究会

○「ふるさと創生祭」の開催

- ・3年に1回(11月)

- ・佐伯文化会館及びその周辺

- ・ステージイベント、ふるさと紹介、食の紹介、作品展示



資質・能力系統表、各小・中学校・高等学校での
具体的な実践から

「学校を核とした『ふるさと創生プラン』」を作成
＜「学校を核とした『ふるさと創生プラン』」作成会議＞

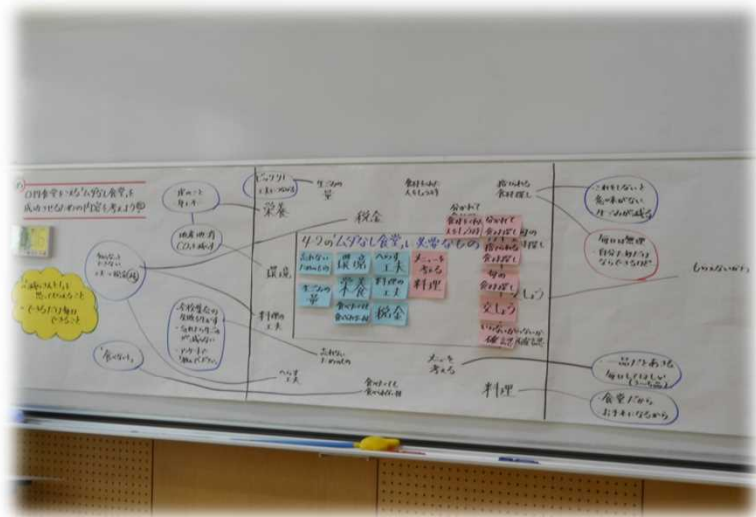


佐伯市内の小・中学校、高等学校における生活科、総合的な学習の時間

これまでの成果

- ・付けたい力を明確にした探究的な学習が根付いてきている
- ・児童・生徒が自ら課題の設定ができつつある
- ・子どもが動き、対話する協同的な学びが成立している
- ・総合的な学習の時間の重要性が浸透してきた





ふれあいサロンでの高齢者の様子

ともえい! 楽しく交遊中 話し好き 活動内容

ボランティア・ホールボード

西瀬川内閣 披露と和式 立く人も

みんな元気



課題となっていること

- ・小学校、中学校で同じ活動の繰り返しになっている
- ・どのような力を付ければよいのかが明確になっていない
- ・総合的な学習の時間のねらいに即した学習活動が行われていない

付けたい資質・能力を
明確にし、取り組んでいく
必要がある



課題解決に向けて

- ・小学校、中学校、高等学校での付けたい力の系統を明らかにする。
- ・小・中・高が互いに連携を意識し、自校のカリキュラムを明らかにする。
- ・各校種ごとに連携を深める。

資質・能力系統表をベースにした
小・中・高における
12年間の実践

ふるさとを愛し
ふるさとの未来を創造する力

- ・ **郷土を愛し、誇りをもって自らの夢の実現に邁進する人材**
- ・ **地域の人々と支え合い、協働しながら佐伯市の未来を切り開く資質と能力をそなえた人材**

学校を核とした「ふるさと創生」事業

生活科及び総合的な学習の時間を要に、地域の特性を踏まえ、地域の「ひと・もの・こと」を活用しながら、学校を核とした地域の活性化を推進する取組をとおして、児童生徒にふるさとへの愛着や誇りを育み、夢や希望をもってふるさとの未来を創造する資質と能力をそなえた人材の育成をめざす。

【生活・総合に係る具体的な取組】

【めざす人材】

12年間を見通した生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す
資質・能力系統表の策定

＜地域とともに創る学校＞

- (1) 12年間を見通したカリキュラムの策定
 - 小学校、中学校の連携を意識したカリキュラムの策定
 - 義務教育9年間の学びを踏まえた高等学校のカリキュラムの策定
- (2) 市全体の共通テーマに基づく取組
 - 佐伯の歴史・文化・先人
 - 防災
- (3) 一校一実践の取組
 - 伝統芸能・伝統技術の継承
 - B級グルメ商品開発
 - 地域の名所・旧跡案内（歴史と観光）
 - 地場産業の研究 など
- (4) 生活・総合モデル校の指定
 - 小・中各1校、公開研究会
- (5) 「ふるさと創生祭」の開催
 - 佐伯文化会館及びその周辺

- 郷土を愛し、誇りをもって自らの夢の実現に邁進する人材
- 地域の人々と支え合い、協働しながら佐伯市の未来を切り開く資質と能力をそなえた人材

小・中・高における12年間の実践

佐伯市の活性化と子育て人口の増加

「学校を核とした『ふるさと創生』プラン」の作成

佐伯市の課題

平成17年5月1日

市人口: 80, 297人

小学校: 4, 352人

中学校: 2, 306人



平成28年5月1日

市人口: 74, 441人

小学校: 3, 288人

中学校: 1, 785人

ふるさとを愛し
ふるさとと未来を創造する力

郷土を愛し、誇りをもって自らの夢の
実現に邁進する人材
地域の人々と支え合い、協働しながら佐伯市
の未来を切り開く資質と能力をそなえた人材

佐伯市の活性化
子育て人口の増加

